

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

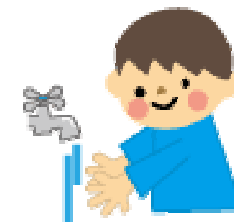


KAWASAKI CITY

平成26年1月27日（月）～平成26年2月2日（日）〔平成26年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
インフルエンザは定点当たり40.85人と前週（27.28）より患者報告数は大幅に増加し、流行発生警報基準値（定点当たり30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

感染性胃腸炎は定点当たり12.00人と前週（14.61）より患者報告数は減少していますが、例年より高いレベルで推移しています。

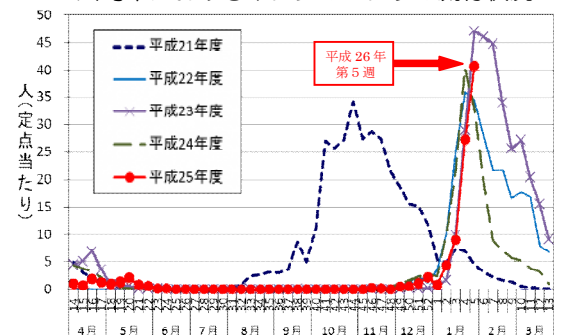


『インフルエンザ』流行発生警報発令！！

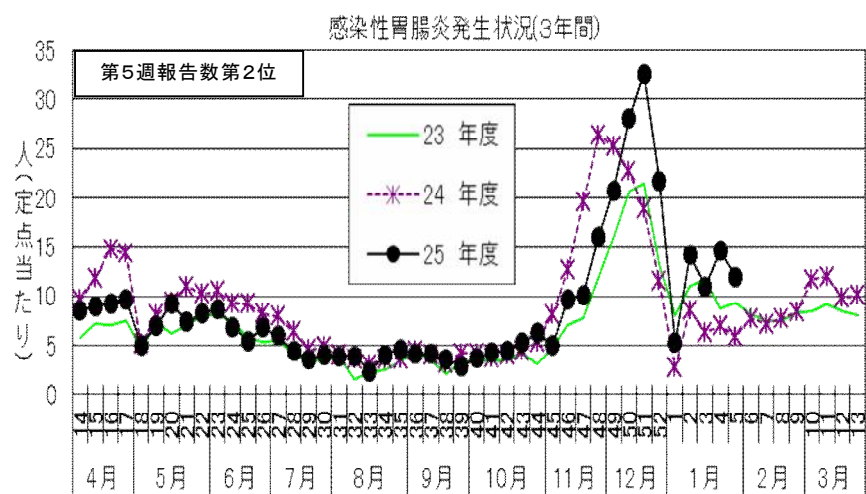
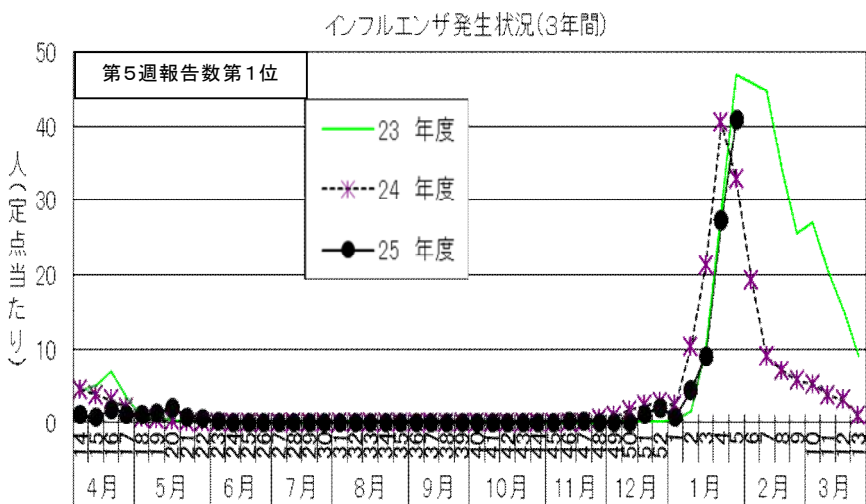
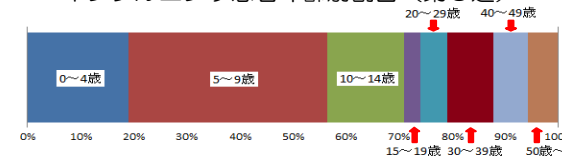
年明け以降、川崎市においてインフルエンザの患者報告数が急増しており、第5週のインフルエンザ患者報告数が定点当たり40.85人となり、流行発生警報基準値（定点当たり30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

年齢別では、小学校入学前後の子どもの割合が多いので、保育園や小学校等における集団生活の場においては、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などを心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザの流行状況



インフルエンザ患者年齢別割合（第5週）



海外で麻しんに感染する事例が増加しています！

昨年末から、全国的に麻しんの届出数が増加し、特にフィリピンなど海外から帰国した方が麻しんを発症する事例が目立っています。今後、国内外における麻しんの流行情報に注意が必要です。

麻しんの流行地へ渡航される際には、麻しんの予防接種を検討しましょう。

